

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

建物、構築物、備品及び車両運搬具については、減価償却資産の耐用年数・償却率表に基づき定率法により減価償却を行う。

(2) 引当金の計上基準について

退職給与引当金は、一般社団法人白老観光協会退職金支給規程（昭和52年規程第4号）に基づき支給することし、勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部との共済契約により、退職金を確保することとしているが、独自の支給基準を設けていることから、当該年度末における中小企業退職金共済事業から支給される退職金額と独自基準による差額分を引当積立金として計上している。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金・未収入金・仮払金・未払金・仮受金・預り金を含めている。また、貸付金・短期借入金については、当協会内の会計処理のため収支が相殺されている。なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。

(4) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込み方式により行っている。

2. 基本財産の増減及び残高は次のとおりである

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金（定期預金）	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

3. 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである (単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	△ 1,373,101	△ 1,373,101
貸付金	0	0
未収入金	2,515,342	2,515,342
仮払金	7,228,122	7,228,122
合計	8,370,363	8,370,363

科目	前期末残高	当期末残高
未払金	7,696,786	7,696,786
預り金	188,025	188,025
仮受金	31,477	31,477
合計	7,916,288	7,916,288
次期繰越収支差額	454,075	454,075

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである (単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物	4,051,650	2,739,999	1
備品	1,960,395	812,196	4
電話加入権	60,754	0	60,754
車両運搬具	1,050,001	0	0
合計	7,122,800	3,552,195	60,759

6. 債務保証

債務保証は行っていない。

7. その他

特記事項はありません。